

月刊

み つ ば

NO.85

つ つ じ

~八雲ジュニアサポートーズクラブ~

2015年1月号

リターン!



「みつばつつじ」にご意見、ご感想をお寄せください。八雲青少年育成の会事務局

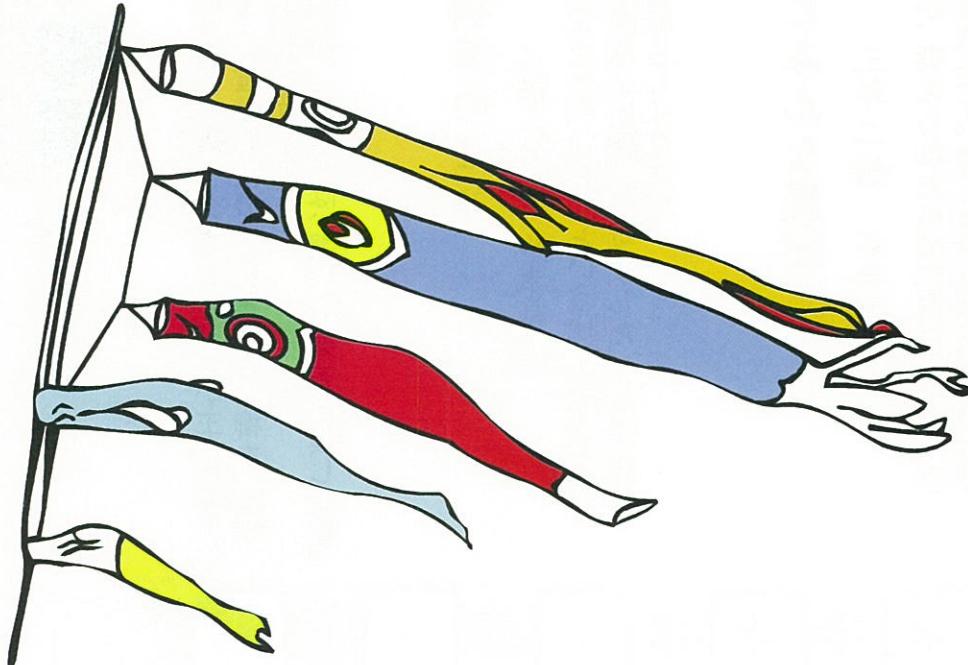
[TEL 54-2478 : FAX 54-1238 (八雲公民館) メール jr_sup@yahoo.co.jp] まで。

発行:八雲ジュニアサポートーズクラブ

八雲青少年育成の会 青少年活動委員会

寄稿

八雲ゆう人会代表 石原泰仁



意宇川に鯉のぼりの復活を目指して

私たち「八雲ゆう人会」は八雲町で育った20代の男女で結成した団体です。私たちの手でもう一度意宇川に鯉のぼりを上げたいと考え、来春の復活を目指し活動をしています。

私たちは、小さいころから八雲町日吉の親水公園にたくさんの鯉のぼりが元気よく泳ぐ姿を見ながら育ってきました。

その鯉のぼりが一昨年をさかいで上がらなくなり、どうしたのだろうと寂しい気持ちでいました。尋ねてみると地元の方々が実行委員会を結成して活動されていましたが、平成24年を最後に事業に幕を降ろされたと伺いました。鯉のぼりを上げる設備の老朽化や、メンバーの方の高齢化に伴い、活動の継続が困難になった為とのことでした。

22年間、休むこともなく毎年この時期には、多くの鯉のぼりが意宇川を舞い、いつしか八雲町の初夏を告げる風物詩として定着していたように思います。町内外からも多くのお客さんがいらっしゃっていました。中止の知らせを聞いて、私たちだけでなく、惜しむ声がたくさん寄せられていたことを新聞等のメディアでも目にしました。

私たち「八雲ゆう人会」は、意宇川の鯉のぼりを、このまま終わらせるべきではないと強く思い、自分たちが鯉のぼり復活へ向けての旗印となり、皆様と共に歩んで行きたいと思っています。また、この鯉のぼりをきっかけとして、町内だけでなく町外からも八雲に人が訪れることで、八雲の地域活性化に繋がるとも考えています。

鯉のぼりが再び意宇川の空で泳ぐ為には、新たに鯉のぼりをあげる為の支柱を建てる必要があります、その支柱を建てる為には、400万円もの費用が必要となります。私たちの力のみでは、到底鯉のぼりをあげることは出来ません。

不謹なお願いですが、皆様に私たちの活動をご理解をいただき、ご協力賜りたいと思っています。この文書と前後する事あると思いますが、八雲ゆう人会のメンバーが直接皆様のお宅にお邪魔させて頂こうと考えていますので、ご支援をよろしくお願ひします。

第八回 みつば 柳壇

相見柳歩 選

佳作（五句）

考えるいい学校をつくるため

二年一組 吉岡優那

〔評〕この句のように、みんながみんなの学校のことを考えられたら、素晴らしいですね。

天の句（一席）

考える地球と町の明日のこと

二年一組 松本純也

〔評〕「地球」という大きなことと、「町」という比較的小さなことが詠んで、印象的な句に仕上がりました。未来へ向けて「考える」姿勢が、若者らしくて良い。

地の句（二席）

考えて言葉を言うとみんな笑顔

三年二組 石倉茉央

〔評〕ひとりひとりの言葉が、考えられたものになるだけで、クラスの様子は違つてくると思います。優しさが伝わる非常に良い句だと思います。

人の句（三席）

君のため考えること想うこと

三年二組 石原瑠美

〔評〕この句の良い所は、「こと」との繰り返しによってリズムが非常に良くなつたことです。内容も、素敵な恋の句で、共感しました。

みつば柳壇とは、八雲ジニアサポータークラブが主催している川柳大会です。毎年、八雲中学校の協力を得て川柳を募集しています。選者は、相見柳歩先生です。今年の題は「考える」です。それでは、選考結果を発表します。



考えて知つた自分の幼さを

二年二組 秋鹿仁美

〔評〕「幼さ」という言葉が印象的です。大人への階段を一步ずつ歩んでいきましょう。

世界のね平和について考える

二年一組 秋原隆仁

〔評〕日本だけの「平和」ではなく、「世界」の「平和」について詠んであって良いと思います。

進む授業増えていくのははてなだけ

一年二組 大田明奈

〔評〕正直で、実感がこもつていて良い。「はてな」が少なくなるよう、努力していきましょう。

頭の中答えたちが競争してる

一年二組 狩野絢音

〔評〕発想は非常に良いのですが、五・七・五ではなく六・六・七となつていて点が残念です。「考える競争してたち」としては、どうでしょう。

星が降る君のことだけ考える

【総評】

参加してくださった十三名、二十四句に感謝致します。例年より句数は少なかったのですが、良い句が多くありました。

「考える」という課題は、易しいようですが、作るとなると難しいものだったと思います。中学生ともなると、「自分」のことより「他人」のことについて考えられるようになるものだなあと感心しました。今後もそういう姿勢を大切にして頂きたいと思います。

五・七・五の形になるのが一番ですが、どうしても音字数が多くなるようだつたら、「上五」のところを六音にして六・七・五としても悪くはありません。「八・九」あるいは「九・八」にしてもよいですが、「中」の「七」の所が八音以上になる「五・八・五」などは避けたほうがリズム的にはよいです。

今後のみなさんの大いなる飛躍をお祈りします。これからも、少しずつで良いので川柳を作つてみてください。

ジユーサポの活動

二〇一四年の活動について紹介します。八月以降の活動の詳細は裏面で紹介します。

二月

十五・十六日 研修視察

三月

三十日 なごやかバラエティ笑



八月

十四日 おいでな祭 模擬店参加

十五日 おいでな祭 会場清掃活動
十七日 2014夏 八雲・東出雲 地域リーダー会
同研修会

十九日 八雲ふれあい文化祭 模擬店参加

二十九日 青少年育成八雲住民大会

十一月

二十六・二十七日 2015冬 八雲・東出雲地

域リーダー合同研修会





おいでな祭

8
月

夕方ごろは雨で、人出が少なく心配しましたが、花火の頃にはたくさんの人出で、フランクフルト、フライドポテトは完売。たこ焼きも作ったものは、すべて売れました。メンバーは少しずつ変わっていますが、ノウハウは蓄積され、店内はスムーズに作業ができていたように思います。

ジュニア



ついに開店です！



お客様が増えてくる前にいっぱい作ろう！



いらっしゃいませ！どんどん買ってください！



八雲ふれあい文化祭

10
月

今回の出店品目は、たこ焼きとから揚げ、キャラメルポップコーンでした。それぞれ、たこ焼き220食、唐揚げ120食、キャラメルポップコーン170カップほど作りました。



新しい公民館で初めての文化祭！



テントの中は大忙し！終了時刻まで作って作って作りました。



2015冬 八雲・東出雲 地域リーダー合同研修会

12
月

参加者

八雲中17名、東出雲中20名
大人30名（総勢）



集合写真



アンケート結果を見ると、八雲中と東出雲中の生徒共に高評価でした。

ジュニサポの吉田元代表の担当した研修については、特に評価が高く、特に東出雲中は全員が最も良い評価をつけてくれました。

次は8月に計画している「八雲・東出雲 地域リーダー研修会 夏」で、各学校の成果報告を行えればと思います。



研修の様子



編集後記

みつばつつじリターンを作ることになりました。この号で、今年もみつば柳壇を掲載することができました。

第8回目の開催になる今回の大会では応募者が少ないなか、良い句を紹介することができました。応募してくれた皆さん、ありがとうございました。
大津 裕貴



デジファレ
花言葉
「お似合い」